

はじめに

最新の被害想定や必要物資量を踏まえた支援物資物流システム構築に係る方針の提示、今後の取り組み等を整理

現況調査・分析

1. 支援物資の物量を踏まえた物流システムの検証・評価

首都直下地震発災時に一次物資集積拠点が有効に機能し得るか否か、
①時間軸ごとの必要物資量、②被害パターンを踏まえた物資拠点及び輸送ルートの利用可能性、の観点から検証

2. モデル地区における物流体制の検証

二次物資集積拠点での保管や、二次物資集積拠点から被災者への輸送も含めた支援物資輸送の全体を捉えて、物流システムが有効に機能するか否かを、モデル地区を対象にしたケーススタディにより検証

3. 実証訓練（図上訓練）による検証

課題抽出

4. 支援物資物流システムの課題

- 量的な側面を踏まえた一次物資集積拠点の課題整理
 - ・一次物資集積拠点の積み上げの必要性など、首都直下地震への量的な側面からの課題を整理
- 二次物資集積拠点から避難所までを含めた支援物資物流の課題整理
 - ・二次物資集積拠点から避難所までの支援物資物流のシステム全体での課題をモデル地区分析から整理
- 情報共有化に関わる課題整理
 - ・一次物資集積拠点の広域連携や、二次物資集積拠点以降の輸送も含めて情報共有化の課題を整理

基本方針の提示

5. 支援物資物流システムの構築に向けた対応・体制等の方向性

- オペレーションへの物流事業者の参画、支援物資物流における物流事業者のノウハウの活用、関係者間の連携と役割分担、円滑な情報伝達・情報共有化、災害時協力協定の締結及び見直し等への取り組み
- 民間物資拠点のリストアップ、物資拠点の運営のあり方等
- 時間経過に対応した官民の役割及びオペレーションの整理

6. 今後の取り組み

- 広域的な支援物資物流システムの形成・・・民間物資拠点リストの更新、定期的な防災訓練の実施 等
- 継続的な支援物資物流システムの維持・・・協議会の継続、市区町村への防災意識の啓発 等

首都直下地震等に対応した支援物資物流システム（骨子案）

○協議会とりまとめの意味合い：平成23・24年度の2年間のとりまとめとする

○とりまとめ骨子（案）

とりまとめ骨子	備考
<p>はじめに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会発足の経緯：東日本大震災における支援物資物流の課題 国土交通本省によるアドバイザー会議の開催（H23.12.2とりまとめ） ・協議会の設置目的 ・本とりまとめのねらい：支援物資物流システム構築に係る方針の提言、今後の取り組み等を整理 	
<p>1. 支援物資の物量を踏まえた物流システムの検証・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 支援物資物流システムの検証・評価の視点 (2) 被害想定と一次物資拠点の利用可能性 (3) 支援物資の物量の把握と必要面積の検証 (4) 輸送ルートを含めた支援物資物流システムの評価 	<p>中央防災会議での被害想定 H24 調査で物量、必要面積、需給バランスをチェック</p>
<p>2. モデル地区における物流体制の検証</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 調査のねらい (2) モデル地区の選定 (3) モデル地区調査の進め方 (4) 協議会におけるモデル地区の検討成果の共有化 	<p>H24 調査で行うモデル地区調査結果を記載</p>
<p>3. 実証訓練（図上訓練）による検証</p> <p>4. 支援物資物流システムの課題</p> <p>4-1. 量的な側面を踏まえた1次物資拠点の課題整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次物資集積拠点の積み上げの必要性など、首都直下地震への量的な側面からの課題を整理 →リストアップした民間物資拠点は沿岸部に多く立地し、震災時の対応可能性が課題 民間物流拠点の絶対数の不足 <p>4-2. 2次物資拠点から避難所までを含めた支援物資物流の課題整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2次物資拠点から避難所までの支援物資物流のシステム全体での課題をモデル地区分析から整理 →地域防災計画への支援物資物流システム（輸送・保管など）に関する書き込みが必要 <p>4-3. 情報共有化に関わる課題整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次物資拠点の広域連携や、2次物資拠点以降の輸送も含めて情報共有化の課題を整理 →行政間の情報共有だけでなく、「輸送」「保管」「専門家派遣」を担う物流事業者団体や民間事業者とも状況共有が必要 	<p>1. から導出される課題を整理</p> <p>2. から導出される課題を整理</p> <p>3. から導出される課題を整理</p>
<p>5. 支援物資物流システムの構築に向けた対応・体制等の方向性</p> <p>5-1. 支援物資物流における物流事業者のノウハウの活用や関係者間の連携等</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 都県・政令市のオペレーションへの物流事業者の参画等 (2) 関係者間の連携と役割分担 (3) 関係者による円滑な情報伝達・情報共有化 (4) 支援物資物流に係る災害時協力協定の締結及び見直し等 <p>5-2. 民間物資拠点のリストアップや物資拠点の運営のあり方等</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 民間物資拠点のリストアップ (2) 物資拠点の円滑な運営 <p>5-3. 時間経過に対応した官民の役割及びオペレーションの整理</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) ステージ0 事前準備 (2) ステージ1 発災から3日程度 (3) ステージ2 発災から1ヶ月程度 (4) ステージ3 発災から1ヶ月程度以降 	<p>H23 協議会とりまとめをベースに H24 調査結果に基づき深掘り・具体化</p>
<p>6. 今後の取り組み</p> <p>6-1. 広域的な支援物資物流システムの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間物資拠点リストの更新、定期的な防災訓練の実施 等 <p>6-2. 継続的な支援物資物流システムの維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会の継続、市区町村への防災意識の啓発 等 	<p>H24 調査結果より導出される結果を記載</p>
<p>参考資料</p> <p>A. 被害想定等に基づく一次物資集積拠点の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援物資の物量及び必要保管能力の調査 ・被害パターン毎の輸送ルート・物資拠点の分析・評価 <p>B. モデル地区における二次物資集積拠点の評価</p> <p>C. 民間事業者の倉庫・トラックターミナル等による広域物資拠点（一次物資集積拠点）リスト</p>	<p>1. での推計方法・結果等</p> <p>2. での検討結果の概要</p>
<p>協議会開催経緯（H23・H24） 委員名簿（H23・H24）</p>	